

報告日 令和7年11月5日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊賀市			代表者名	稻森 稔尚
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル自治推進課	連絡先電話番号	0595-22-9622
担当者役職	主任	担当者氏名	北森 江里佳	連絡先E-mail	
住所	5188501 三重県伊賀市3184番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	管理職員向けの研修
概要	部下のDX推進や行政改革を後押しできるような、管理職員の意識醸成。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月31日	講演（実地）	10時00分	16時20分	
				活動時間（分）	380
2-2. 派遣場所	会場名	伊賀市役所		最寄駅	四十九町駅
	所在地	三重県伊賀市四十九町3184番地		最寄駅からの交通手段	公用車

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようにところがよかったです等詳細に）	アドバイザーには令和6年度（2025年2月）にも伊賀市で一般職員向けの研修を行っていただいたが、その際にアンケートで「管理職員にも受講してほしい」という声がいくつかあったため、今回の研修開催となった。 アドバイザーは前回の一般職員向け研修の内容を踏まえ、今回は管理職員向けの内容で話してもらった。「管理職って大変だよね」、という話を含め進められたため、管理職員側も共感しやすかったと考える。 研修内容も、なぜDXが必要なのか伊賀市の人口減少や職員減少、倍率の低下や病休者の推移をもとに説明いただいた。業務改善についても、実際の事例を交えた具体的な話が多く含まれており理解しやすく、各所属の業務に応用しやすいと感じた。また、時折笑いをとることで、研修の雰囲気がなごやかであった点もあげられる。 さらに、アドバイザー自身が同じ自治体職員の立場であるため、民間企業の講師よりも共感しやすく、話を聞きやすかった。それもあり、研修の内容がより身近に感じられ、実践的な学びが深まった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	108人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他（学生など）
		人数	108	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	【現況】 ・職員の業務負担が増加しており、業務効率化が急務となっている。 ・一般職員がDXや業務改善の提案を行っても、管理職員の理解やサポートが不足しているため、提案が実行に移されにくい。 ・2024年度に一般職員向けにDX研修を開催した際、一般職員だけでなく管理職員にも受講してほしいという声が多く寄せられた。 【課題】 ・一般職員だけでなく管理職員も含めた組織全体での意識改革を行う。 ・管理職員がDX推進の重要性を理解し、一般職員の業務改善や効率化の取り組みを後押しできる組織にするため、管理職員に向けた研修を実施する必要がある。 ・将来的に人口・税収の減少が進む中で、持続可能な行政経営をしていくために、研修を通じて管理職員が理解しサポートできることで業務改善やDXの推進を図る。
---------------------------	---

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	管理職員向けDX研修の実施により、管理職員の意識醸成を図ることで、オンライン申請の拡充や道路・公園の通報サービスの導入など本市のDXに係る取り組みを加速させる。そして、市民の利便性の向上や、時間・場所の制約を無くすことで、柔軟な対応を可能にし、安全安心で利便性を実感できる市民サービスを実現し、市民の満足度を向上させる。
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	主催者：伊賀市デジタル自治推進課 想定される対象者：伊賀市管理職員 人数等：全体で100人程度、3回に分けて受講 支援内容：昨年度一般職員に講義していただいた内容を主に、一般職員が改革の際に管理職員に求めること（バックアップや具体的な指示）などをご講義いただいた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・職員から、現在のDXに対する忌憚のない意見を聞くことができた ・職員の希望があった事項について対応できるものから対応していく（操作研修の開催など） ・研修を受けた管理職員のうち、改善する意欲のある職員が実際に声をあげてくれた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 研修を開催したが、行動変容についてはこれからのため、具体的な成果物はない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入下さい)	なし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 受講後アンケートを実施しているが、回答期限が報告書提出期限よりも先で、分析ができないため。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	管理職員向けDX研修の実施により、管理職員の意識醸成を図ることで、オンライン申請の拡充や道路・公園の通報サービスの導入など本市のDXに係る取り組みを加速させる。そして、市民の利便性の向上や、時間・場所の制約を無くすことで、柔軟な対応を可能にし、安全安心で利便性を実感できる市民サービスを実現し、市民の満足度を向上させる。

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」に掲載される「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

